

4. 新海洋調査船と新測器——ドイツ Meteor号

西独新メテオール号は雌伏20年のドイツ海洋学者の希望と夢を結集した表徴として1964年10月29日進水した。排水量2740トン、82m長、巾13.5mで船員55名、科学者室24名分の設備を持ち600馬力エンジン5基、高速ディーゼル、直流発電機。2聯動推進モーターにより最大巡航速14ノットである。精確制御位置付けに350馬力アクティブ・ラダー250馬力パウ・スラスター2台。特に騒音と震動を避け、海洋音響研究と高感度測器使用に便ならしめた。ヘリコプター発着用甲板。ゾンデ気球放球台。研究室12(海洋物理、海洋化学、海洋地質、海洋生物、海洋微生物、気象実験室、深海音響測深機室、気象レーダ測器及天気図室)、図書室地震調査用ヘリコプター格納室、工作室、写真暗室、冷蔵室、重力計室を有する測器としては11トン深海ウインチ、新海用水深自記計、小型ウインチ、单相コンダクターケーブル用ウインチ、多相コンダクターケーブル用ウインチ。Bathysonde(バチゾンデ)……水温、塩分を2000m深まで自記、酸素を400m深まで自記。サーモグラフ。サリノグラフ(表面塩分自記々録計)、放射能連続自記計、曳行電極マグネトメーター等を備える。ハンブルグのドイツ海洋研究所に所属する。

(宇田道隆)

5. マグロ漁場調査と新測器 ロングハースト・サンプラー

(出所: Progress Rept.
Scripps Tuna Oceanography
Research Program Feb. 1965)

1964年8月調査船ホライゾン号は南部ローワー・キャリフォルニア西沖でキワダマグロ、カツオ漁場が北限20°乃至21°以南に班状分布を示していることを観察した。Cape San Lucas前線は春季同様夏季にもみられたが、Hardy Longhurst sampler(動物プランクトン用)とTurner fluorimeter(植物プランクトン用)を用い調査した。6、7月この湧昇は顕著であつたが8月にはほとんど止つた。湧昇水は冷水舌をなして沿岸を南〜南西に突出し、栄養塩および主なマグロ餌料動物である甲殻類Pleuroncodes Planipes(植物プランクトンを餌とする)が豊富であつた。1964年夏はローワーカリフォルニア沖はマグロ類が少なかつた。又沿岸の北上反流は見出されなかつた。

Turnerの蛍光計はYentsch & Mendel(Deep-Sea Res, 10: 221-231)